

FISHIN'GRAPH

フィッシンググラフ～見て感じて楽しむ沖釣りライフ

②9 湘南のマダコ釣り ～相模湾腰越港出船～



▲釣り場は腰越沖のみ。出船したら2分で開始

▲腰越港は江ノ島の目の前にある

映画でも有名な稲村ケ崎を跳めながら釣る。その向こうは鎌倉



▲数か所の映画やCMで登場する七里が浜高校の前にSUP。そして江ノ電が走る



▲葛飾北斎も描いた江ノ島越しの富士校

江ノ島、稲村ケ崎、七里ヶ浜に江ノ電など、史跡や映画・音楽の舞台として知られる「湘南」の風景を眼前に釣りをする。相模湾腰越ほどロケーションに恵まれたマダコ釣り場もないだろう。毎年5月に幕を開け8月に終了する腰越・池田丸のマダコ釣りは港を出て2分足らずで始まる。

水深は10メートル前後。海底は平たんながら岩礁も多い。富所さんはタコ

マスターSSのMH170で、まずはオモリ20号で慎重に小づく。

「それほど船が速く流れるわけでもなさそうなので、オモリを軽くして、少し投げていきたいと思います」

富所さんはオモリを10号に、そしてしばらくするとオモリを外して、タコ専用餌木・タコマスターフラスシユブ1スト3.5号2本だけで釣り始めた。

「仕掛けは軽いほど根掛かりしにくいですし、乗りも明確で面白いんです。この浅さですから、流れたらどンドン入れ替えます」



◎とみどころ じゅん シマノインストラクター。ティップエギング、メタルスツテゲーム、タチウオをはじめ、船のライトゲーム、[楽しむ釣り]の最先端に行く。



江ノ島と丹沢の山並みを背景にのんびり小づく

タックル
ロッド：タコマスター-SS MH170
リール：スコピオンMD300XGLH
道糸：グラップラー-8 2号
リーダー：オシアEX
フロロリーダー-8号 1.5m
エギ：タコマスターフラッシュブースト 3.5号35g



◀根も狙う関東の餌木タコではMHまたはMがマッチする。当日、富所さんはMH170を使用

【タコマスター-SS】
◎トップモデル同様の設計を受け継ぎ誕生した、だれもがマダコ釣りを深く楽しむことができる餌木タコ専用ベシックモデル。アイテムはS175、M175、MH170の3種。
◎SPEC (MH170) =全長1.7m、2本継ぎ、仕舞寸法89.5cm、自重142g、オモリ負荷40~100号、カーボン含有率83.6%、価格=2万5500~2万6500円



◀餌木を安定させつつ機敏に動かし、大ダコの高負荷にも耐えるグラスリッド穂先は絶妙の味付けに仕上がっている

▲小型細径化されホールド感の高いマルチパーミングC14+シートは持ち手を選ばず、キャストしやすい



【タコマスターフラッシュブースト3.5号】
◎内蔵された反射板により静止した状態でもアピールすることができるフラッシュブースト搭載のタコ餌木。各地で実績の高い緑系「タコグリーン」と黄色系「タコイエロー」の半透明の布巻きが新たに加わり、計12色のラインナップとなった
◎SPEC =サイズ3.5号、自重35g、全12色、価格=1130円



◀新たに加わったタコイエロー。明石でも東京湾でも実績の高い色の半透明布巻きだ



▲平場では小型もよく乗ってきた



◀ゴールドとシルバーのナチュラル系に乗ってきた
▶網袋は持参となる



港を出てすぐに釣り始めると、ほどなく大型に乗った



▲10メートル前後の浅場で潮が緩い時間、富所さんはオモリを外して狙ってみた



▲根が緩ければキャストして探ってもいい

ちなみに池田丸ではオモリはオマツリしない範囲で調整している。むしろ池田威知朗船長が呼びかけたのは根掛かりで餌木を海底に残さないこと。つまり太りリーダーで根起こしできるような心がけたい。
タコマスターフラッシュブースト3.5号を2本だけのシンブルを仕掛けをキャストして、バスフィッシングのように小刻みに小づいてくると不意に穂先が押さえ込まれ期待の1杯目が乗る。
予想以上の大きなマダコにタモが間に合わず海面で逃したものの、

よもやのバラシのあとに1キロ級を2杯。富所さんにはかり大型がきたのは偶然ではなさそう

すぐに再び乗せて1キロほどの良型をタモに収める。そしてその直後にも1キロ級。東京湾好調の影に隠れているものの腰越沖も好調なようで、こまめに流し変えるたびハイペースでマダコが乗ってくる。
とはいえコツもある。海底は平坦ながら根掛かりしやすいから、マダコにせよ、根掛かりにせよ、あやしいと思ったら慌てずに小さく穂先をシェイクさせて道糸のテンションを変化させる工夫が必要。根ならここで外れることが多く、マダコならさらに深く抱いて軟質を押しさえ込み感が伝わってくる。
「関東で必須といえる根を交わす操作性や、潮が止まったときのキャストはやはり硬めでレスポンスに優れた竿が使いやすいですね。その点でタコマスターSSのMH170は東京湾や三浦半島、相模湾、そして茨城エリアにピッタリだと思います。また、潮切れがよくアピール力の強いタコマスターフラッシュブースト3.5号は自信を持って仕掛けをシンブルにできるので、キャストやカラーローテーションなど、よりゲーム性が高まります」
潮が流れ始めてからはオモリを15、20号と増しつつ数を重ねる富所さんだが、後半はミヨシの富所さんと逆、

つまりトモ寄りに乗るようになる。「乗りのいい席が変わるのは仕方ないところ。前半にいいタコが釣れたので、あとはのんびり過ごしますよ」
湘南に住みながらその風景を海から間近に眺めることが意外と少なかった富所さん。談笑しながら小づくことしばし、梅雨空の隙間に富士山を見つけた沖揚がり前に最後のマダコが乗ってきたのであった。



小さなタコはリリース